

——アナログ回路技術小特集号

(英文論文誌 A) 論文募集——

アナログ回路技術小特集編集委員会

基礎・境界ソサイエティではアナログ回路技術に関連した小特集を平成5年以来、その時々によさわしいテーマを掲げて毎年行ってきました。今回も前回に引き続き最新の研究成果を発表・共有する場として、アナログ回路技術の広範な分野から論文を御投稿頂く「アナログ回路技術小特集」を平成25年2月号に企画致しました。

今日のLSI技術は、ネットワーク通信網に革命的な進歩をもたらし、更に生活、医療、環境分野へとその応用範囲を拡大しつつあります。これら発展するシステムLSI技術には、高効率かつ高速で動作するデジタル信号処理部と、高度なセンシング機能と多種多様な通信機能をコンパクト及び小電力で実現するアナログ回路が必要となります。加えて、今日の環境意識の高まりから、電源マネジメント技術も搭載されるようになっていきます。

また、これら回路の性能限界を追求すれば、デジタルとアナログ部を協調させた融合技術も必要となってきます。このような基本回路技術とともに、アナログ・デジタル混載システムでは、システムの機能、性能、設計コスト等の制約の下で、必要な機能をどのようにアナログとデジタルに切り分けするかが重要となります。

更に、アナログ回路設計においては、ミリ波帯までの信号処理の発達に適応可能なデバイスのモデリングとキャラクタライゼーション、大規模LSI設計のためのシステムから回路レベルまでをシームレスに設計するためのモデリング技術や、アナログ回路の様々な設計資産の標準化による設計の効率化手法などが、高精度、高信頼度、高効率設計のための重要な鍵となると考えられます。

このような背景から、この小特集号では、デバイスからシステムに至る種々のレベルにおけるアナログ回路及びアナログ混載回路の設計手法、シミュレーション技術、試験評価方法、その他関連のアナログ回路技術に関して最新の成果や将来の課題を広く議論することを目的としました。多数の論文の御投稿をお願い申し上げます。

1. 対象分野

アナログ回路設計技術、アナログ・デジタル混載システム技術、及びこれに関連する基礎理論、応用、及び実現技術

- ・低電圧・低消費電力アナログ回路、MEMS用アナログ回路技術
- ・アナログ・デジタル混載システム・回路・LSI技術
- ・ミリ波・RF帯アナログ回路、ネットワーク・通信システム用アナログ回路、知能システム用回路
- ・オペアンプ、増幅器、比較器、アクティブフィルタ、発振回路、乗算回路、基準電流源回路、基準電圧源回路
- ・センサ回路、A-D変換器、D-A変換器、変復調器、PLL、SC回路、 $\Sigma\Delta$ 変調回路
- ・電源マネジメント回路、DC-DC変換器、AC-DC変換器
- ・環境発電回路技術、エネルギーハーベスト回路
- ・デジタル回路(メモリ、マイコン、DSPなど)におけるアナログ回路技術

- ・非線形電子回路、カオス回路、ニューラルネットワーク
- ・Built-In Self Test、雑音解析技術、基板結合雑音の解析-低減技術
- ・回路最適化技術、回路性能補償技術
- ・アナログ回路向けのデバイスモデリングとシミュレーション技術
- ・アナログ設計CADの利用技術
- ・アナログレイアウトCAD
- ・ビヘイビアモデリングとシステムレベルシミュレーション技術
- ・その他、関連するアナログ回路技術

2. 論文の執筆と取扱い

通常の論文と同一とし、原則として、論文は刷り上がり8ページ程度、レターは刷り上がり2ページ程度とします。詳細はInformation for Authorsに従って下さい。Information for Authorsは、http://www.ieice.org/eng/shiori/mokuji_ess.html から入手できます。なお、査読後の再提出期間は短縮する場合がありますので、あらかじめ御了承下さい。

3. 投稿方法

電子投稿を推奨します。以下の手順で御投稿下さい。

手順1: https://review.ieice.org/regist_e.aspx より登録を行って下さい。なお登録時には必ず“Type of Issue (Section)/Transactions”で[Special-EA] Analog Circuit Techniques and Related Topicsを選択して下さい。[Regular-EA]を決して選択しないで下さい。

手順2: 印刷したConfirmation Sheet of Manuscript Registration及びCopyright Transfer and Page Charge Agreementにサインをしたものを論文投稿締切日である平成24年5月25日(金)(必着)で下記宛て送付して下さい。送付方法は、郵送、FAX、スキャンしPDF化したもののメール添付、のいずれの手段でも構いません。これらの書類がないと査読が開始されません。

4. 論文投稿締切日 平成24年5月25日(金)必着

5. 送付先及び問合せ先

古田雅則(東芝)
〒212-8582 川崎市幸区小向東芝町1(株)東芝 研究開発センターワイヤレスシステムラボラトリ
TEL [044] 549-2280, FAX [044] 520-1806
E-mail: masanori.furuta@toshiba.co.jp

6. 小特集編集委員会

- 委員長 島 健(神奈川大)
幹事 佐藤隆英(山梨大)、徳永祐介(パナソニック)、古田雅則(東芝)
委員 浅井秀樹(静岡大)、石川雅之(木更津高専)、石黒仁揮(慶大)、板倉哲朗(東芝)、伊藤信之(岡山県立大)、鈴木仁人(ソニー)、関屋大雄(千葉大)、関根かをり(明大)、谷本 洋(北見工大)、道正志郎(パナソニック)、ニコデムス レディアン(東工大)、兵庫 明(東京理科大)、堀田正生(東京都市大)、松本修(ルネサスエレクトロニクス)、松谷康之(青学大)、武藤浩二(長崎大)、安田 彰(法政大)、山脇大造(ルネサスマバイル)、湯川 彰(eMemory)、吉田 毅(広島大)、和田和千(明大)

7. 付記

*論文採録の場合は掲載別刷代が必要となりますので、あらかじめ御了承下さい。

*投稿に際しては、著者のうち少なくとも1名は本会会員でなければなりません。ただし招待論文に関してはこの限りではありません。必要な投稿資格を満たしていない著者からの投稿論文については、投稿を受け付けけないこととなりますので御注意下さい。入会の案内はこちらを御覧下さい。http://www.ieice.org/eng/member/OM-appli.html

*採録論文数が多い場合には、一部次月以降に掲載される場合があることをあらかじめ御了承下さい。

——生活の質を向上させる通信サービスの品質 小特集号（英文論文誌 B）論文募集——

生活の質を向上させる通信サービスの 品質小特集編集委員会

映像通信や音声通信の高品質化技術の発展に伴い、通信ネットワークを介して、音声・映像を使った会話や高品質映像コンテンツの視聴などを、誰もが気楽に低コストで利用できる環境が一般的になりつつあります。従来、高品質映像の配信など広い帯域を必要とする通信サービスは、ADSL や光ファイバ等の有線によるネットワーク接続を用いる必要がありましたが、スマートフォンに代表される高度な無線通信端末と、広帯域伝送が可能な無線アクセスネットワークの普及に伴い、誰もが手軽に場所を選ばずバラエティに富む通信サービスを楽しむ環境が普及しつつあります。また、ツイッターに代表される新しいネットワークサービスの利用が拡大しており、多数の人との常時コミュニケーションが可能な環境が広がっております。このような通信手段や通信サービスの大きな変化は、人々の生活の質をも変化させる可能性を秘めています。そこで、無線通信技術やソーシャルネットワークなどをはじめとした、近年の様々な通信インフラ・端末・サービス技術の設計、制御、運用を考える際には、生活の質という観点から、そのインパクトを分析し、生活の質の向上につながる技術を確認することが重要となります。このような状況を踏まえ、生活の質を向上させる、今後の通信ネットワークと通信サービスの品質に関する研究開発の一層の促進を目的として、本小特集号（2013年2月号掲載）を企画致します。

1. 対象分野

通信ネットワークと通信サービスの品質に関する以下の分野を対象とします。

- ・生活の質を向上させる通信サービスシステム
- ・生活の質を向上させる通信サービス品質
- ・サービス品質向上のためのモデル化・シミュレーション
- ・ユーザ状況・心理を含むサービス満足度
- ・Web サービス・ソーシャルサービスにおける品質
- ・音声・映像・五感メディア品質の主観評価・客観評価
- ・サービス品質向上のためのネットワーク計測・制御技術
- ・ネットワーク品質とユーザ体感品質（QoE）
- ・ネットワークの信頼性・安全性
- ・有線・無線サービスの品質計測・制御技術

2. 論文の執筆と取扱い

通常の英文論文と同一とします。ページ数は、原則として、論文の場合は刷り上がり8ページ、レターの場合は刷り上がり2ページを標準とします。初期投稿時のレターの最大ページ数は4ページです。標準ページ数を超えると、掲載別刷代が急に高くなりますので御注意下さい。詳細は Information for Authors (http://www.ieice.org/eng/shiori/mokuji_cs.html) を御参照下

さい。査読後の再提出期間（通常は60日）を短縮する場合があります。

3. 投稿方法

Webによる電子投稿のみ受け付けます。以下の手順で御投稿下さい。

手順1: https://review.ieice.org/regist_e.aspx より登録を行って下さい。初期投稿時に、編集可能な論文本体（TeX/Word）、図、著者の写真、biographyも投稿する必要があります。なお登録時には必ず“Type of Issue (Section)/Category of Transactions”で [Special-EB] Quality of Communication Services Improving Quality of Life を選択して下さい。[Regular-EB] を決して選択しないで下さい。

手順2: 登録時に生成される“Copyright Transfer and Page Charge Agreement”と“Confirmation Sheet of Manuscript Registration”を、論文投稿締切日までに下記送付先へ電子メール添付、FAX、郵送のいずれかの方法でお送り下さい。これらの書類が期日までに届かない場合、投稿が取下げになることがあります。

4. 論文投稿締切日 2012年5月31日（木）必着

5. 投稿書類送付先及び問合せ先

大崎博之

大阪大学大学院情報科学研究科

〒565-0871 吹田市山田丘1-5

TEL [06] 6879-4551, FAX [06] 6879-4554

E-mail: special-eb-qos@ispl.jp

6. 小特集編集委員会

委員長 山崎達也（NICT）

幹事 大崎博之（阪大）

委員 北脇信彦（筑波大）、行田弘一（芝浦工大）、計 宇生（NII）、下西英之（NEC）、高橋 玲（NTT）、谷口高士（阪学院大）、鶴 正人（九工大）、中内清秀（NICT）、長谷川 剛（阪大）、長谷川 亨（KDDI 研）、引地謙治（富士通研）、藤沢 寛（NHK）、山本尚生（東京都大）

7. 付記

*締切日を厳守して下さい。

*招待論文を含む全ての採録論文については掲載別刷代（別刷50部含む）が必要となります。

*投稿に際しては、著者のうち少なくとも1名は本会会員でなければなりません。ただし招待論文に関してはこの限りではありません。必要な投稿資格を満たしていない著者からの投稿論文については、投稿を受け付けけないこととなりますので御注意下さい。入会の案内はこちらを御覧下さい。http://www.ieice.org/jpn/nyukai/susume.html

——SQUID とその応用小特集号 （英文論文誌 C）論文募集——

SQUID とその応用小特集編集委員会

1911年の超伝導発見から100周年を経て、様々な分野で超伝導応用の進展が期待される中、SQUIDは微小な磁場を測定することが可能なことから、脳磁計に代表される医療応用から非接触検査などの産業応用まで幅広い応用が始まっています。更に、免疫診断、地質調査、磁気顕微鏡や量子コンピュータへのSQUID

の適用のほか、SQUID-NMR など新しい展開も精力的に進められています。こうした背景の下、更なる SQUID 研究の飛躍の一助となるよう、「SQUID とその応用」小特集 (2013 年 3 月号) を企画致しました。

本小特集号では、このテーマに関する英文論文を一般に広く募集します。積極的な御投稿を期待致します。

1. 対象分野

非破壊検査、脳磁計、生体磁気計測、免疫診断、SQUID-NMR、SQUID 磁気顕微鏡、地質調査、磁束量子ビットなどの SQUID を用いた広い応用研究分野や、dc-SQUID、rf-SQUID、nano-SQUID、SQUID readout 等の基礎も含め、SQUID に関する全ての分野を募集対象とします。

2. 論文の執筆と取扱い

本小特集号ではペーパーとブリーフペーパーのみ受け付けます。原則として刷り上がりペーパー 8 ページ、ブリーフペーパー 4 ページ以内 (厳守) とします。詳細は Information for Authors (http://www.ieice.org/eng/shiori/mokuji_es.html) を御参照下さい。査読後の再提出期間 (通常は 60 日) を短縮する場合がありますので、あらかじめ御了承下さい。本小特集への論文投稿については下記を御参照下さい。

3. 投稿方法

査読作業の円滑化を図るため、本小特集では論文の電子投稿を行います。以下の手順で御投稿下さい。

手順 1: https://review.ieice.org/regist_e.aspx から登録を行って下さい。なお登録時には必ず "Type of Issue (Section)/Category of Transactions" で、"[Special-EC] SQUID and its Applications" を選択して下さい。[Regular-EC] を選択しないで下さい。

手順 2: 著作権譲渡書 (Copyright Transfer and Page Charge Agreement) と仮登録確認用紙 (Confirmation Sheet of Manuscript Registration) を下記まで電子メール添付 (推奨)・FAX・郵便のいずれかの方法で送付して下さい。これらの書類がないと査読が開始されません。

4. 論文投稿締切日 2012 年 6 月 30 日 (土) 必着

5. 問合せ先及び著作権譲渡書送り先

問合せ先: 立木 実

〒305-0478 つくば市千現 1-2-1 独立行政法人物質・材料研究機構 環境・エネルギー材料部門

TEL [029] 859-2315, FAX [029] 859-2301

E-mail: TACHIKI.Minoru@nims.go.jp

著作権譲渡書 送り先: 宮戸祐治

〒560-8531 豊中市待兼山町 1-3 大阪大学基礎工学研究科

TEL [06] 6850-6313, FAX [06] 6850-6312

E-mail: miyato@sup.ee.es.osaka-u.ac.jp

6. 小特集編集委員会

委員長 糸崎秀夫 (阪大)

幹事 立木 実 (NIMS), 宮戸祐治 (阪大)

委員 内田貴司 (防衛大), 川山 巖 (阪大), 作田 健 (滋賀県立大), 林 忠之 (仙台高専), 牧 哲朗 (産技短大), 水柿義直 (電通大)

7. 小特集号の海外配布

本小特集号は、該当分野の海外キーパーソン 50 名に送付される予定です。

8. 付記

*招待論文を含め論文採録の場合は掲載別刷代が必要となりますので、あらかじめ御了承下さい。

*投稿に際しては、著者のうち少なくとも 1 名は本会会員でなければなりません。ただし招待論文に関してはこの限りではありません。必要な投稿資格を満たしていない著者からの投稿論文については、投稿を受け付けけないこととなりますので御注意下さい。入会の案内はこちらを御覧下さい。

<http://www.ieice.org/jpn/nyukai/index.html>

——分子エレクトロニクスと有機デバイスの

新展開小特集号 (英文論文誌 C) 論文募集——

分子エレクトロニクスと有機デバイスの

新展開小特集編集委員会

有機材料はエレクトロニクス材料としてますます重要な地位を占めつつあります。この分野の研究は、絶縁体、半導体、導体、超伝導体、磁性体としての基礎的物性の評価にとどまらず、メモリ、表示デバイス、太陽電池、光学素子、センサ、アクチュエータなどへの応用研究に加え、バイオ分野へも広がりを見せています。有機エレクトロニクス (OME) 研究専門委員会では、21 世紀を開くこれらの材料・素子の研究を総括することにより更なる発展の指標が得られると考え、2012 年 6 月 7 日 (木)~8 日 (金) に NTT 武蔵野研究開発センター (東京都武蔵野市) で開催される「国際有機エレクトロニクスシンポジウム (ISOME2012)」での発表を中心に、「分子エレクトロニクスと有機デバイスの新展開」小特集号 "Recent Progress in Molecular and Organic Devices" (2013 年 3 月号) の発行を企画しました。奮って御投稿下さいませようお願いします。

1. 対象分野

以下に示すような有機エレクトロニクスの進展とその応用に関する分野を含め、これ以外の分野も投稿可能です。

- ・ナノ構造有機薄膜
- ・電子機能性デバイス
- ・単分子デバイス
- ・機能性有機材料
- ・有機薄膜センサ
- ・ナノ界面の電子光評価技術
- ・単分子膜
- ・生体デバイス
- ・ナノ界面電気化学
- ・有機光機能性デバイス
- ・有機分子メモリ
- ・ナノ界面の柔構造評価

2. 論文の執筆と取扱い

論文の形式等の執筆の詳細は Information for Authors (http://www.ieice.org/eng/shiori/mokuji_es.html) を御参照下さい。ただし、論文誌の掲載ページ数は 8 ページ以内 (Brief Paper は 4 ページ以内厳守) を原則と致します。なお査読後の再提出期間 (通常は 60 日) を短縮する場合がありますので、あらかじめ御了承下さい。本小特集への論文投稿については下記に従いぐれも間違いのないようお願い致します。

3. 投稿方法

査読作業の円滑化を図るため、本小特集では論文の電子投稿を行います。次の手順で投稿を進めて下さい。

手順 1: 電子投稿

論文の仮登録と論文 (図、表を含む) の電子ファイルを学会の Web ページ (https://review.ieice.org/regist_

e.aspx) でアップロードして下さい。なお、Webでの登録にあたり、“Type of Issue (Section)/Transactions”は、“[Special-EC] Recent Progress in Molecular and Organic Electronics”を選択して下さい。

手順2：著作権譲渡承諾書の送付

著作権譲渡承諾書 (Copyright Transfer and Page Charge Agreement) と仮登録確認用紙 (Confirmation Sheet of Manuscript Registration) を下記まで電子メール添付 (推奨)、FAX、または郵送のいずれかの方法で送付して下さい。郵送の際は、送付する封筒に「分子エレクトロニクスと有機デバイスの新展開」と朱記して下さい。

4. 論文投稿締切 2012年6月30日(土) 必着

5. 送付先及び問合せ先

中村二郎 NTT 環境エネルギー研究所

〒243-0198 武蔵野市緑町3-9-11

TEL [0422] 59-2280, E-mail: nakamura.jiro@lab.ntt.co.jp

6. 小特集編集委員会

委員長 丸野 透 (NTT), 白井博明 (東京農工大)

幹事 加藤景三 (新潟大), 中村二郎 (NTT), 松田直樹 (産総研)

編集委員 榎本信太郎 (東芝), 木戸脇匡俊 (芝浦工大), 小松京嗣 (仙台高専), 酒井正俊 (千葉大), 坂口幸一 (佐賀大), 佐野健志 (パナソニック), 多田和也 (兵庫県立大), 中村雅一 (奈良先端大), 馬場 暁 (新潟大), 林 稔晶 (NTT), 福田武司 (埼玉大), 松井龍之介 (三重大), 間中孝彰 (東工大), 森 竜雄 (名大)

7. 小特集の海外配布

本小特集号は、該当分野の海外キーパーソン50名に送付される予定です。

【重要なお知らせ】 投稿に際しては、著者のうち少なくとも1名は本会会員でなければなりません。ただし招待論文に関してはこの限りではありません。必要な投稿資格を満たしていない著者からの投稿論文については、投稿を受け付けられないこととなりますので御注意下さい。入会の案内はこちらを御覧下さい。(<<http://www.ieice.org/jpn/nyukai/index.html>>)

——多様な将来のためのインターネットのアーキテクチャとプロトコル並びに応用技術小特集号

(英文論文誌D) 論文募集——

多様な将来のためのインターネットのアーキテクチャとプロトコル並びに応用技術小特集編集委員会

研究者間の情報交換手段を主な用途として出発したインターネットが、WWWの出現やマルチメディア情報処理の普及などを契機として、急速に一般への普及が進み、社会インフラの一つとしての位置を確立しました。それに伴い、現在のインターネットに求められる要求や機能も高度になっており、インターネットのアーキテクチャを含めた大きな変革が求められている状況となっています。このような状況の下で、多様な将来に向けてインターネットが役割を果たすために必要な、新たなアーキテクチャやその応用技術の提案、実証が重要となっています。このような状況を鑑み、「多様な将来のためのインターネットのアーキテクチャとプロトコル並びに応用技術小特集号」(平成25年2月号)を企画致しました。

論文特集号原稿募集

1. 対象分野

- (1) ネットワークアーキテクチャとプロトコルと管理 (自律・分散ルーティング/ネットワークプロトコル, ロバスト/適応的/品質保証トラフィック制御, データセンタネットワーク, モバイル/ユビキタス/アドホックなネットワークアーキテクチャ, オーバレイネットワーク技術, センサネットワーク技術, ID/ローケーション分離技術, コンテンツセントリックネットワーク技術, インターネットの運用・管理技術)
- (2) ネットワークコンピューティングとアプリケーション技術 (ネットワークエージェント技術, コラボレーション技術, グループウェア, テレプレゼンス技術, 分散コンピューティング・グリッドコンピューティング・クラウドコンピューティング技術, ソーシャルネットワーク技術, 地球環境問題への情報ネットワーク・アプリケーション)
- (3) デジタルコンテンツ流通基盤としての次世代のインターネット関連技術 (品質要望・満足度の分析法と品質改善法, デジタル権利管理 (DRM) 技術, QoS管理技術, コンテンツ・ディストリビューション・ネットワーク (CDN) アーキテクチャ, 通信放送融合技術)
- (4) 次世代のインターネットにおけるセキュリティ (セキュアプロトコル, ファイアウォール/フィルタリング法, 侵入検知技術, トレース技術, 認証基盤技術, 社会的セキュリティ技術)
- (5) 次世代のインターネットの社会的役割とその技術的課題への対応 (教育, 医療, 福祉, 災害対策などの社会活動におけるインターネットの利用の分析/提案, 流通/経済インフラとしてのインターネットの利用法の分析/提案, 高度道路交通システム (ITS), インターネットと情報倫理教育)

2. 論文の執筆と取扱い

通常の英文論文と同一とします。原則として刷り上がりペーパー8ページ, レター2ページ以内とします。詳細は Information for Authors (http://www.ieice.org/eng/shiori/mokuji_iss.html) を御参照下さい。査読後の再提出期間 (通常は60日) を短縮する場合があります。

3. 投稿方法

Webによる電子投稿のみ受け付けます。以下の手順で御投稿下さい。

手順1: https://review.ieice.org/regist_e.aspx より登録を行って下さい。なお登録時には必ず “Type of Issue (Section)/Category of Transactions” で “[Special-ED] The Internet Architectures, Protocols, and Applications for Diversified Futures” を選択して下さい。[Regular-ED] を決して選択しないで下さい。

手順2: “Copyright Transfer and Page Charge Agreement” 文書と “Confirmation Sheet of Manuscript Registration” 文書を、論文投稿締切日である平成24年5月28日(月)(必着)で下記送付先に到着するように送付して下さい。メール添付, FAX, いずれの手段でも結構です。なお、郵送の場合、封筒には「多様な将来のためのインターネットのアーキテクチャとプロトコル並びに応用技術小特集号」と朱筆して下さい。これらの書類がないと査読が開始されません。

告71

4. 論文投稿締切日 平成 24 年 5 月 28 日 (月) (必須)

5. Copyright Transfer/Confirmation Sheet 送付先, 問合せ先

河合栄治

〒100-0004 千代田区大手町 1-8-1 独立行政法人情報通信研究機構テストベッド研究開発推進センター

TEL [03] 3510-6271, FAX [03] 3272-3062

E-mail: ieice-ed2013@is.saga-u.ac.jp

6. 小特集編集委員会

委員長 渡辺健次 (佐賀大)

幹事 河合栄治 (NICT), 新麗 (IJJ イノベーションイニシテュート), 北辻佳恵 (KDDI 研)

委員 秋山豊和 (京都産大), 石川憲洋 (駒沢大), 伊藤嘉浩 (名工大), 猪俣敦夫 (奈良先端大), 今井悟史 (富士通研), 大島浩太 (東京農工大), 落合秀也 (東大), 片山勝 (NTT), 古村隆明 (京大), 田上敦士 (KDDI 研), 友石正彦 (東工大), 中村素典 (NII), 中村豊 (九工大), 西村浩二 (広島大), 樋地正浩 (日立東日本ソリューションズ), 福田健介 (NII), 堀良彰 (九大), 前田香織 (広島市大), 松原大典 (日立), 山本寛 (長岡技科大)

7. 付記

*論文採録の場合は掲載別刷代が必要となりますので, あらかじめ御了承下さい。

*投稿に際しては, 著者のうち少なくとも 1 名は本会会員でなければなりません。ただし招待論文に関してはこの限りではありません。必要な投稿資格を満たしていない著者からの投稿論文については, 投稿を受け付けないこととなりますので御注意下さい。入会の案内はこちらを御覧下さい。http://www.ieice.org/jpn/nyukai/index.html

——データ工学と情報マネジメント特集号

(和文論文誌 D) 論文募集——

データ工学と情報マネジメント特集編集委員会

データベース技術に代表されるデータ工学の分野では, 昨今のデータベースの応用領域の拡大や, 膨大かつ多様なデータの出現を受け, 活発な研究活動が行われています。本会データ工学研究専門委員会が共催しておりますデータ工学と情報マネジメントに関するフォーラム (DEIM フォーラム) では, 幅広くデータ工学並びに情報マネジメント分野を対象として, 先進的な研究成果に対する発表と活発な議論を行っています。これを踏まえ, 昨年に引き続き情報・システムサイエティ和文論文誌にて「データ工学と情報マネジメント特集」(平成 25 年 5 月号) を企画致しました。DEIM フォーラムで発表された研究内容を更に発展させた論文, あるいは同フォーラムに限らずデータ工学と情報マネジメントに関連した論文を広く募集致しますので, 奮って御投稿下さいませよう御案内申し上げます。

1. 対象分野

以下のようなテーマの論文投稿を期待しておりますが, これに限らず広くデータ工学と情報マネジメントに関する分野の論文の積極的な御投稿をお願い致します。

- ・ファイル編成, ストレージ技術
- ・データ構造, インデックス
- ・問合せ処理, 問合せ言語
- ・トランザクション処理, 障害回復

- ・データモデル・データモデリング
- ・並列・分散データベース
- ・空間・時空間データベース, モバイルデータベース
- ・マルチメディアデータベース, テキストデータベース, 時系列データベース
- ・ネットワークとデータ工学, 分散・ユビキタスコンピューティングとデータ工学
- ・データマイニング
- ・XML, 半構造データ
- ・Web 情報システム, Web コンテンツ技術, メタデータ, セマンティック Web
- ・ブログ・ソーシャルネットワーク, クラウドコンピューティング
- ・情報検索・推薦, パーソナライゼーション
- ・コンテンツ管理・流通, 通信放送融合, デジタルアーカイブ
- ・情報の統合・管理, データウェアハウス, OLAP
- ・地理情報システム, 医療・生体情報システム, サイエントフィックデータベース
- ・ビジネス情報マネジメント
- ・社会・教育と情報マネジメント

2. 論文の執筆と取扱い

- ・通常の一般論文と同一とし, 論文は原則として刷り上がり 8 ページ以内とします。詳細は和文論文誌投稿のしおり http://www.ieice.org/jpn/shiori/iss_mokuji.html を御参照下さい。
- ・査読後の再提出期間が短縮される場合があることをあらかじめ御了承下さい。

3. 投稿方法

(A) 電子投稿

https://review.ieice.org/regist_j.aspx にアクセスし, 投稿原稿の PDF ファイルと編集用電子ファイルを登録して下さい。登録後に作成される投稿者チェックリスト・著作権譲渡書を投稿締切日までに学会事務局に送付して下さい。

(B) 郵送

https://review.ieice.org/regist_j.aspx にアクセスし, 投稿論文データを登録して下さい。投稿者チェックリスト, 著作権譲渡書, 投稿原稿, 編集用電子ファイルを保存したメディアを投稿締切日までに学会事務局に到着するように郵送して下さい。

送付先

〒105-0011 港区芝公園 3-5-8 機械振興会館

(社)電子情報通信学会出版事業部サイエティ誌出版課

FAX [03] 3433-6616, E-mail: wabun-d1@ieice.org

4. 投稿締切日 平成 24 年 7 月 2 日 (月) 厳守

5. 特集編集委員会

委員長 是津耕司 (NICT)

幹事 鈴木伸崇 (筑波大), 片山 薫 (首都大東京), 中島伸介 (京都産大)

委員 天笠俊之 (筑波大), 小口正人 (お茶の水女子大), 鬼塚 真 (NTT), 河合由起子 (京都産大), 小林一郎 (お茶の水女子大), 鈴木 優 (名大), 田島敬史 (京大), 豊田正史 (東大), 橋本隆子 (千葉商科大), 波多野賢治 (同志社大), 宝珍輝尚 (京都工繊大)

6. 問合せ先

鈴木伸崇 筑波大学 図書館情報メディア系

E-mail: nsuzuki@slis.tsukuba.ac.jp

中島伸介 京都産業大学 コンピュータ理工学部ネットワーク
メディア学科
E-mail: nakajima@cse.kyoto-su.ac.jp

——データ工学と情報マネジメント特集号

(英文論文誌 D) 論文募集——

データ工学と情報マネジメント特集編集委員会

電子情報通信学会は、情報・システムソサイエティの英文論文誌 IEICE Transactions on Information and Systems の 2013 年 5 月号において、データ工学と情報マネジメント特集 (Special Section on Data Engineering and Information Management) を掲載致します。本特集は、データ工学に関連する幅広い研究分野の未発表オリジナル論文を募集致します。奮って御投稿下さい。

1. 対象分野

データ工学とその関連分野の理論並びに実践に関する論文を広く募集致します。対象となる分野は以下のとおりですが、これに限定せずデータ工学に関連するものであれば広く歓迎します。

- ・コア技術：ファイル編成、ストレージ、問合せ処理、問合せ言語、トランザクション処理、索引、ストリーム処理、セキュリティとプライバシー
- ・データベース：分散・並列データベース、マルチメディアデータベース、時間・空間データベース、モバイルデータベース、科学データベース、XML・半構造データベース、センサデータベース、P2P・グリッド上のデータ管理、情報統合
- ・情報検索：情報抽出、情報要約、情報推薦
- ・データマイニング：データウェアハウス、OLAP、データマイニングアルゴリズム、テキストマイニング、Webマイニング
- ・Web 技術：Web 検索エンジン、コンテンツ、メタデータ、セマンティック Web、Web サービス
- ・応用分野：電子商取引、e-ラーニング、デジタルライブラリ、アーカイブ、情報・データ放送、可視化、ユーザインタフェース

2. 論文投稿要領

- ・御投稿にあたっては、“The Information for Authors” (http://www.ieice.org/eng/shiori/mokuji_iss.html) を御一読の上、本会の論文スタイル (<http://www.ieice.org/ftp/>

[index-e.html](#)) にて原稿を御準備頂けますようお願い致します。標準的な原稿ページ数は、ペーパーで 8 ページ、レターで 2 ページとなります。

- ・投稿原稿の御提出は、本会の Web サイト (https://review.ieice.org/regist_e.aspx) を通じてお願いします。電子メールや郵便での御投稿は受け付けできません。御投稿の際は、投稿フォームの “Type of Issue (Section)/Transactions” の項目にて、“[Special-ED] Data Engineering and Information Management” をお選び下さい。
- ・原稿御提出後一週間以内に、“Confirmation Sheet of Manuscript Registration” と “Copyright Transfer and Page Charge Agreement” を下記、編集幹事まで、電子メール添付、FAX、郵送のいずれかの方法でお送り下さい。

送付先

春本 要

〒565-0871 吹田市山田丘 2-1 大阪大学大学院工学研究科

Email: harumoto@eng.osaka-u.ac.jp

TEL [06] 6879-4221, FAX [06] 6889-4219

3. 原稿提出締切日 2012 年 7 月 2 日 (月)

4. その他注意事項

- ・論文が採録となった場合、掲載料 (論文別刷代金を含む) をお支払い頂くことになります。
- ・条件付採録の場合の改訂原稿再提出までの期限は、通常の 60 日より短縮される場合があります。
- ・投稿に際し、著者のうち少なくとも 1 名は、本会会員でなければなりません。投稿資格を満たさない著者からの御投稿は受け付けません。入会の案内は (<http://www.ieice.org/jpn/nyukai/index.html>) を御覧下さい。

5. 特集編集委員会

編集委員長 (ゲストエディタ)：是津耕司 (NICT)

編集幹事：春本 要 (阪大)

編集委員：天笠俊之 (筑波大)、小口正人 (お茶の水女子大)、鬼塚 真 (NTT)、片山 薫 (首都大東京)、河合由起子 (京都産大)、川島英之 (筑波大)、鈴木伸崇 (筑波大)、鈴木 優 (名大)、田島敬史 (京大)、豊田正史 (東大)、中島伸介 (京都産大)、橋本隆子 (千葉商科大)、波多野賢治 (同志社大)、宝珍輝尚 (京都工繊大)

お問合せ等は編集幹事まで、可能な限り電子メールにてお願い致します。(件名に「IEICE (DE2013)」とお書き下さい。)

